

## 前回提示した素案からの変更状況について

## ①協議会等における指摘事項への対応

指摘時期	指摘内容	前回頁	今回頁	対応状況
第 8 回 協議会	路線名が「栗谷線」と表示されているが、「大竹・栗谷線」に変わっている	27.33.34. 35.62	25.31.32. 33.60	名称を修正
	路線再編に関する記載が具体性に欠ける(全体的で面的な再編になるのか読み取れない) 次年度に再編実施計画を作るのであれば、もう少し具体的に踏み込んで記載すべき	74-78	72-75	路線再編について関係者と調整し、事業 1～2 について可能な限り具体的に記載 再構築前後の路線の状況がわかる図面に変更
	課題で「適切な財政支出の維持」を挙げているが、財政支出に関する目標値が無い	70.73.89	69.87.91	財政支出に関する目標・目標値を新設(目標 1-2)
	タクシーも公共交通であるが、役割分担や方針の記述が無い	—	54.60	各公共交通機関の役割や将来の方向性を記載
	上位計画で宮島口の旅客ターミナル整備に関する事業に触れているが、本計画の事業に挙がっていない	—	76-77	宮島口の旅客ターミナル整備に関する事業を記載
	支線は便数等に差が見られるため、支線の区分を増やして方針を個別に設定すべき	62-64	60-61	支線を細分化して方向性等を記載
	個別の事業が目標や基本方針と紐づけされているとわかりやすい	73	87	紐づけし関係を記載
第 8 回 協議会後 個別	上位計画である都市マスの「公共交通の整備方針」に「・・・廿日市駅に快速便の停車、増便等利便性の向上を促進します。」という表現があるが、現時点で予定がないため削除すべき	22	20	該当項目を削除
	「交通結節点の位置づけと方向性」で、大きな整備を予定している JR 大野浦駅や宮島口棧橋は交通結節点として挙げておくべき	61	59	JR 大野浦駅と宮島口棧橋を交通結節点として位置づけ
	表 15 の支線の「運行経路結節点等」で「・一次医療機関・・・」となっているが、一次医療機関に限らなくても良いのではないかと	64	63	“一次”を削除し「医療機関・・・・」に修正

②協議会等における指摘事項への対応以外における事務局による主な修正状況

修正箇所	前回頁	今回頁	修正状況
各地域における取組の方向性<廿日市地域>	65	64	広電バス原・川末線の再構築の表現修正（事業2参照追記） JR廿日市駅整備の記載内容を修正
各地域における取組の方向性<大野地域>	66	65	宮島口地区のまちづくりや港湾整備に関する追記
各地域における取組の方向性<佐伯地域>	67	66	地域間幹線の再構築について追記し、支線の再構築と併せ表現修正（事業1、事業2参照追記）
各地域における取組の方向性<吉和地域>	68	67	広電バス佐伯線（吉和）の再構築の表現修正（事業1参照追記）
目標1-1②の目標値	70	69	各路線の将来動向を精査し、4.4千人／日に修正
目標3-2②の目標値	72	71	観光分野の目標との整合を取り、13.7千人／日に修正
事業内容	74-87	72-85	地域公共交通再編事業として国の支援を想定する事業のタイトル部にその旨を記載 事業の順序を変更 事業名称の変更（事業6、事業10） 事業3にJR廿日市駅北口整備に関する内容を記載 事業8にJRのバリアフリー関係事業の予定表を追加
事業体系図	73	87	掲載位置を変更（各事業の後ろに） 事業の順序を変更 事業名称の変更（事業6、事業10）
実施スケジュール	88	89	事業の順序を変更 事業名称の変更（事業6、事業10） 想定する実施内容を表内に記載 事業10の想定実施時期を2年前倒し